

機能保全計画一覧表 野口漁港（平成27年度）

種類	名称		規模（延長等）		建設又は取得の年月日	経過年数	建設又は取得の価格	機能保全レベル	健全度の評価				a、b 評価の内容	対策工	対策の要否	初回概算工事費（百万円）
									対象施設	評価	対象施設	評価				
防波堤	1	(1)防波堤	40.5m	傾斜式、石材	平成8年3月31日	19	不明	3	重力式防波堤	C			-			
	2	(2)防波堤	18.5m	直立式、石材	平成3年3月31日	24	不明	3	重力式防波堤	C			-			
	3	(3)防波堤	49.0m	直立式、石材	平成3年3月31日	24	不明	3	重力式防波堤	A			上部工に小規模な欠損：b 石材の脱落・欠損：a	石材、天端コンクリート復旧	要	3
	4	(5)防波堤	20.3m	直立式、石材	平成7年3月31日	20	不明	3	重力式防波堤	C			-			
	5	(6)防波堤	22.8m	直立式、コンクリート	平成17年7月25日	10	12百万円	3	重力式防波堤	D			-			
	6	(7)防波堤	20.5m	直立式、石材	昭和34年3月31日	56	不明	3	重力式防波堤	A			上部工に幅1cm以上のひび割れ：b 石材の脱落・欠損：a	石材、天端コンクリート復旧	要	1
	7	(18)防砂堤	83.0m	傾斜式、石材	昭和58年3月31日	32	17百万円	3	重力式防波堤	A			石材の脱落・欠損：a	天端コンクリート打設	要	21
	8	(25)東防砂堤	127.4m	傾斜式、石材	昭和61年～平成11年	29	46百万円	3	重力式防波堤	A			石材の脱落・欠損：a	天端コンクリート打設	要	32
導流堤	9	(40-1)導流堤	27.1m	混成堤、石材	平成8年3月31日	19	不明	3	重力式防波堤	A			基礎工・被覆工に被災率5%以上の移動・散乱・沈下：a	被覆石復旧、捨石根固め	要	5
	//	(40-2)導流堤	23.5m	混成堤、石材	平成8年3月31日	19	不明	3	重力式防波堤	D			-			
護岸	10	(13)護岸	7.2m	矢板式、鋼矢板	昭和56年～平成10年	34	21百万円	3	矢板式護岸	A	重力式護岸	A	隣接する上部工との間に10～20cm程度の凸凹：b 護岸の背後が陥没：a	水叩き再転圧打換え 薬液注入	要	1
	11	(27)護岸	16.5m	直立式、石材	平成3年3月31日	24	2百万円	3	重力式護岸	C			-			
	12	(28)護岸	43.0m	直立式、石材	平成3年3月31日	24	2百万円	3	重力式護岸	C			-			
	13	(38)護岸	5.4m	方塊 コンクリート	平成6年～平成13年	21	10百万円	3	重力式係船岸	B			水叩きに3cm以上の沈下（段差）：b	施工当初に沈下し、現在は落ち着いているため、経過観察。	経過観察	-
	14	(39)護岸	129.7m	直立式、石材	平成6年～平成13年	21	10百万円	3	重力式護岸	C			-			
	15	(55)取付護岸	6.1m	矢板式、鋼矢板 コンクリート	平成9年～平成11年	18	9百万円	3	矢板式護岸	C			-			
突堤	16	(10)突堤	30.0m	直立式、石材	昭和52年3月31日	38	不明	3	重力式係船岸	C			-			
物揚場	17	(9)1.5物揚場	118.0m	重力式、コンクリート	昭和25年～昭和47年	43	不明	3	重力式護岸	C			-			
	18	(14)-1.5物揚場	129.7m	矢板式、鋼矢板	昭和57年～平成21年	33	155百万円	3	矢板式係船岸	B			エプロンに3cm以上の沈下（段差）：b 上部工に幅3mm以上のひび割れ：b	エプロン再転圧打換え 上部工打換え	要	16
	19	(54)-1.5物揚場	55.0m	矢板式・方塊ブロック、鋼矢板・コンクリート	昭和58年～昭和62年	32	95百万円	3	矢板式係船岸	C			-			
	20	(19)-1.5物揚場	64.0m	L型 コンクリート	昭和58年～昭和62年	32	55百万円	3	重力式係船岸	C			-			
	21	(37)-1.5物揚場	40.0m	方塊 コンクリート	平成6年3月31日	21	54百万円	3	重力式係船岸	C			-			
	22	(21)物揚場取付	48.0m	直立式コンクリート	昭和58年～平成6年	32	13百万円	3	重力式係船岸	B			エプロンに3cm以上の沈下（段差）：b	施工当初に沈下し、現在は落ち着いているため、経過観察。	経過観察	-
船揚場	23	(58)船揚場	30.0m	斜路式 石材 コンクリートブロック	平成11年3月31日	16	44百万円	3	船揚場	C			-			
道路	24	(59)道路	103.0m	アスファルト	平成12年3月31日	15	4百万円	3	道路	C			-			
航路・泊地	25	(16)-1.5m航路	20910m2		昭和55年～平成26年	35	73百万円	2	航路	A			航路に-1.5m以上の堆砂	補修浚渫	要	65
	26	(52)-1.5m泊地	2370m2		平成11年3月31日	16	5百万円	2	泊地	A			泊地に-1.5m以上の堆砂	補修浚渫	要	41
航路	27	(53)-1.5m航路	760m2		平成11年3月31日	16	41百万円	2	航路	A			航路に-1.5m以上に堆砂	補修浚渫	要	31
泊地	28	(24)-1.5m泊地	12567m2		平成58年～平成13年	32	22百万円	2	泊地	A			泊地に-1.5m以上の堆砂	補修浚渫	要	41
泊地	29	(17)-1.5m泊地	12240m2		平成56年～平成11年	34	42百万円	2	泊地	A			泊地に-1.5m以上の堆砂	補修浚渫	要	27
	30	(51)-1.0m泊地	540m2		平成11年3月31日	16	2百万円	2	泊地	A			-			
合計															243	